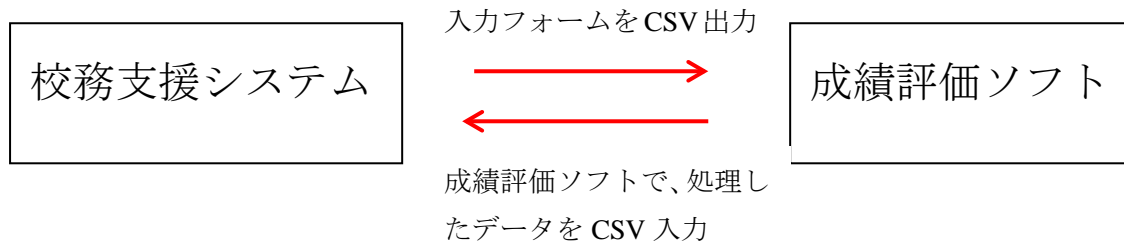


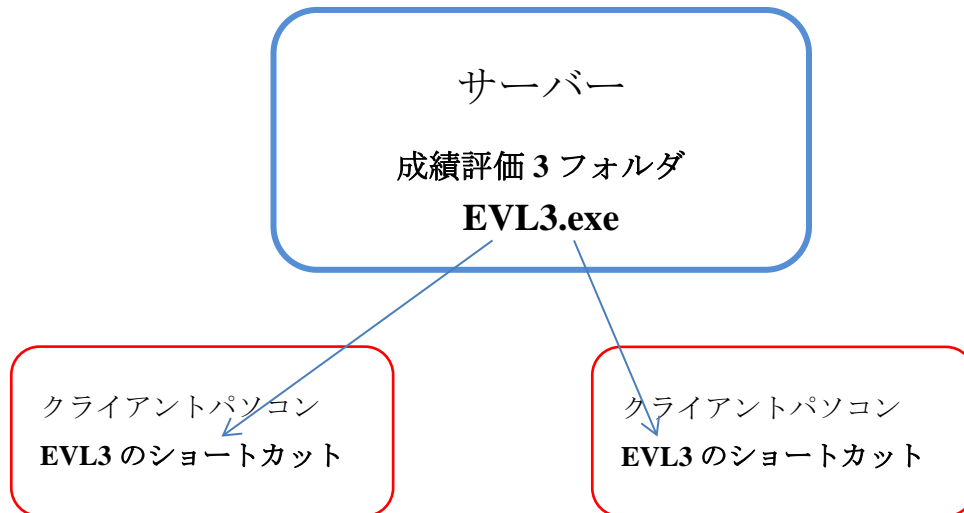
このソフトの目的と運用方法

1. ソフトの目的

このソフトは高等学校における各教科目での成績評価作業を行うことを目的としたソフトで、次の図のように“校務支援システム”との連携に特化した成績評価ソフトです。



2. 校内での運用イメージ

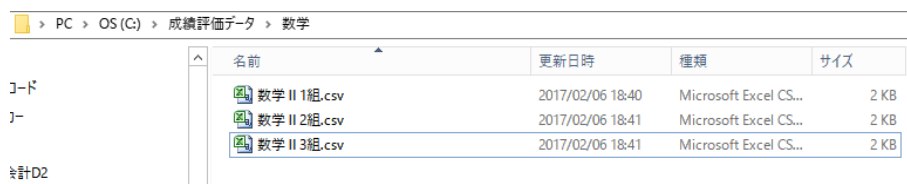


上図のように、校内のサーバーに“成績評価”ソフトのフォルダを置き、各クライアントパソコンでは、実行プログラム(EVL3.exe)のショートカットをデスクトップにおいて、ソフトの起動を行います。

- 同時に多数のクライアントから運用が出来ます。
- 各クライアントパソコンには“成績評価”ソフトをインストールしません。
- ソフトのバージョンアップは管理者が行うだけで、各クライアントでのバージョンアップは不要です。

3. 処理の流れ

1. “校務支援システム” から CSV からの入力用の CSV ファイルを出力します。
例えば、数学で一つの科目が三つの講座に分かれている場合は、この三つの CSV ファイルをあらかじめ用意した専用のフォルダに出力します。



名前	更新日時	種類	サイズ
数学 II 1組.csv	2017/02/06 18:40	Microsoft Excel CS...	2 KB
数学 II 2組.csv	2017/02/06 18:41	Microsoft Excel CS...	2 KB
数学 II 3組.csv	2017/02/06 18:41	Microsoft Excel CS...	2 KB

2. 評価作業を行う担当者は“成績評価”ソフトを起動して、1で出力したフォルダを指定すると、この中の CSV ファイルを読み込んで、成績評価用のテーブルを自動作成します。
3. “成績評価”ソフトで、一年間の定期考査や学期末評価、学年末評定などの成績処理作業を行います。成績の管理は定期考査のほかに各学期とも 20 回分の成績管理が出来ます。
4. 成績評価ソフトで処理した定期考査の点や各学期の評価、学期期中の仮評定、学年末の評定値などを、校務支援システム”で読込可能なデータに変換して CSV ファイル出力をします。

【補足事項】

- “校務支援システム”では講座単位での CSV ファイル出力ですが、“成績評価”では、指定したデータフォルダ内の講座別のファイルを一括用見込みをします。
- “成績評価”に読み込まれたデータは一体化されて教科目単位での成績評価などが出来ます。
- “成績評価”から出力される CSV ファイルは、“校務支援システム”で読込が出来る講座単位の CSV ファイルにわかれます。
- “校務支援システム”での試験名などは、各学期ごとに異なっても“成績評価”ソフトでは問題ありません。

4. インストールについて

当社 HP の次の画面からソフトをダウンロードしてください。

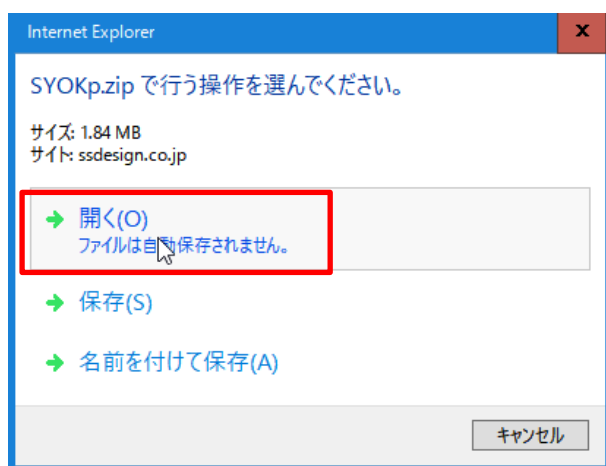
“成績評価” のページの中にある次のファイルをクリックしてください。

EVL3p.zip

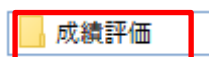
このファイルは、zip 形式の圧縮ファイルになっていますので、次のように解凍してください。

5. ソフトのダウンロード

➤ クリックすると、次のような画面になりますので、“開く” を選択します。

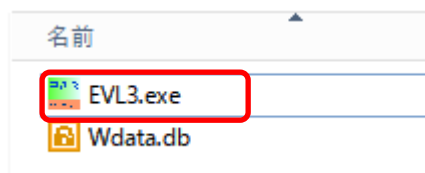


次のような画面になりますので、“成績評価” のフォルダをコピーして、コンピュータの C ドライブまたはサーバーに貼り付けてください。

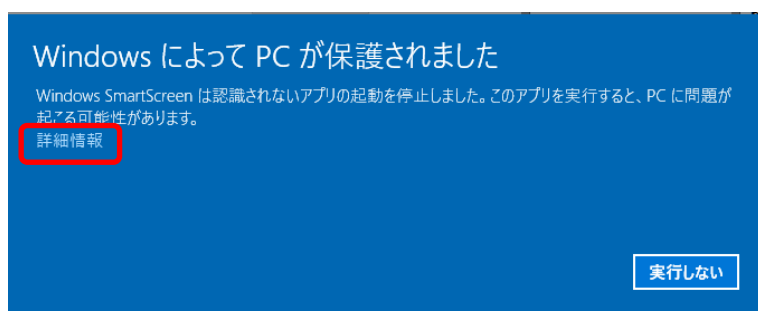


6. ソフトの起動

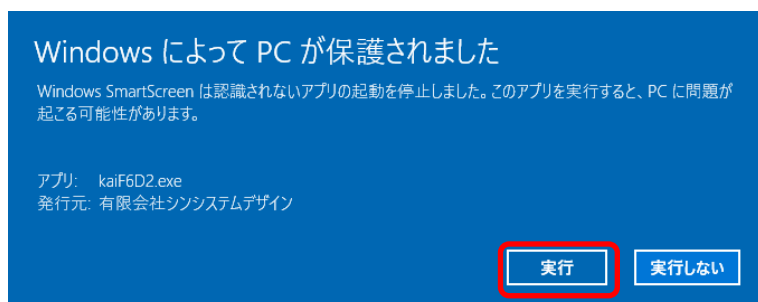
- “成績評価”のフォルダを開くと次のような画面になります。
- **EVL3.exe** が実行プログラムです。このファイルを開くとソフトが起動します。



ソフトを起動した最初に次のような画面が出ましたら、詳細情報をクリックしてください。



次のような画面になりますので、実行ボタンを押すとソフトは起動します。



以上、セットアップおよびソフトの起動までを説明しました。